

概要

令和3年12月16日、防災DX活用検討業務受注者のつくば技術研究センターにおいて、インフラ防災DXの取り組み内容の共有を目的に、BIM/CIM・DX推進防災WG主催の勉強会を開催しました。

次第

- 1) 3次元データ等を活用した被災状況把握の高度化に向けた実証試験結果の共有
- 2) 防災対応におけるウェアラブルカメラを活用したリモート現地調査
- 3) ドローン調査の運用強化に向けた自動航行およびリアルタイム映像配信
- 4) 3次元データ等の活用やリアルタイム映像配信技術、その他防災対応に関わる議論



実証試験に使用した盛土の3D模型

実施内容

- WG関係者、若手技術者合わせて27名が臨場、WEB会議にて参加し、UAV等を用いた3Dデータ取得に関する実証試験の紹介と3Dデータ活用の課題等に関する議論を行いました。
- 3次元データ等を活用した被災状況把握の高度化に向けた実証試験で使用した盛土の見学及びUAV等による測量のデモを実施しました。また、見学の様子はウェアラブルカメラと小型の映像伝送装置を用いてWEB参加者にリアルタイムで映像を配信しました。
- 参加者からは、リアルタイム映像配信機器や3Dモデルの精度に関する質問が挙げられたほか、3Dデータ活用の課題についての議論が行われました。



勉強会の様子